

令和6年7月22日 (一財) 3.11 伝承ロード推進機構

「3.11 伝承ロード」・「写真で見る復興 10 年の歩み」パネル展の開催について

テーマ:「教訓が、いのちを救う。」

東日本大震災から13年が経過しましたが、東日本大震災の記憶や経験を忘れずに後世に伝承するため、東日本大震災の実情と教訓等を映像やパネルにより紹介しています。

また、被災地の被災前、被災直後、復興 10 年の状況について写真パネルにより紹介しています。 ※「3.11 伝承ロード」とは、東日本大震災の教訓を学ぶため、震災伝承施設のネットワークを活用して、防災に関する様々な取組や事業を行う活動です。その活動によって、防災に関する知識や意識を向上させるとともに、多くの人々との交流を促し、災害に強い社会の形成と地域の活性化に繋げるものです。

■パネル展の内容

- 1) パネル展
 - ・教訓の伝承の取組
 - ・災害発生時の対応等について(協力:東北地方整備局、(一社)日本埋立浚渫協会東北支部)
 - ・被災前・被災直後・復興 10 年の航空写真(岩手県宮古市、陸前高田市、宮城県気仙沼市、福島県いわき市等)(協力:(一社)東北地域づくり協会)
- 2) 映像紹介(ユートリー会場のみ)
 - ・映像による東日本大震災発災後の建設業界の活動等

■会 場 等

1) ユートリー (VISIT はちのへ) 2F

〒039-1102 八戸市一番町 1 丁目 9-22

- 〇時間 9:00-18:00 (8月7日(水)は 12:00 までになります。)
- 2) 種差海岸インフォメーションセンター 「レクチャールーム」

〒031-0841 八戸市鮫町字棚久保 14-167

- 〇時間 9:00-17:00 (8月16日(金)は12:00までになります。)
- ■主 催 一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構
- ■協 力 東北地方整備局、(一社) 東北地域づくり協会、(一社) 日本埋立浚渫協会東北支部
- ■その他 新型コロナウイルス感染拡大防止対策については、十分なご配慮とご協力をお願いします。 《発表記者会 青森県政記者会、八戸記者クラブ、東北建設専門紙記者会》

問合せ先

一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構

宮城県仙台市青葉区本町三丁目 2-26

事業部長 佐藤 勝也 TEL022-393-4261

映 像 ア 一 カ イ ブ 事 業

東日本大震災直後から復旧・復興で果たした建設業界の働きは図り知れないものがあります。しかし、その働きが世間に知られることはほとんどありません。

そのため、東日本大震災における記憶・記録の見える化の一環として、震災から10周年という節目に、団体や企業、社員個人が所有している資料や写真、映像などを編集し可視化するとともに、映像アーカイブとして認定し、貴重なレガシーとして残す事業を始めました。



この度の映像では、次の5作品(ダイジェスト版:約16分)を紹介します。

第二の水素爆発を防げ

会社名:大成ロテック株式会社 (本社:東京都)

東日本大震災での津波被害、更には放射線という目 に見えない災害から、従業員を守りながら、国道6号 の復旧に貢献した記録。









地元を守れ!

会社名:株式会社武山興業 (本社:宮城県石巻市)

東日本大震災での津波によって壊滅的な被害を受けた北上川の堤防と、孤立した避難所への道(国道398号)の復旧に貢献した記録。

道を切り啓け!

会社名: 刈屋建設株式会社 (本社: 岩手県宮古市)

大津波警報が発令中のなか、津波で壊滅的な被害を受けた宮古市の早期道路啓開に貢献した記録。









ふるさとに笑顔を取り戻す

会社名:若生工業株式会社 (本社:宮城県石巻市)

東日本大震災により地盤沈下した石巻市の旧北上川の 緊急防潮対策に貢献した記録。

ワンチームで地域を守れ!

会社名:熱海建設株式会社 (本社:宮城県仙台市)

2019年の台風19号による大洪水で被害を受けた宮城県大郷町の堤防の早期復旧に貢献した記録。





※当機構のHPで上記5作品の全編及び他の作品もご覧いただけます。右のQRコードをご利用ください。



展示パネルの例







